

小学校第2学年 体育科学習指導案

A 体づくりの運動遊び (イ 多様な動きをつくる運動遊び)

日時 平成30年9月21日(金) 公開授業① (9:20~10:05)
 場所 体育館
 学年 第2学年(男子6名, 女子2名, 計8名)
 単元名 パワーアップレンジャー ~ 回して, はねて, 力持ち ~

単元についての概要

① 単元設定の意図

本単元は、学習指導要領におけるA「体づくりの運動遊び」のイ「多様な動きをつくる運動遊び」に基づいて設定した単元である。この領域では他の領域において扱われにくい様々な動きを取り上げ、行い方を知るとともに運動遊びの楽しさに気付くことができる。また、運動遊びの楽しさに触れ、結果的に体力の向上を導くとともに、低学年時に基本的な体の動きを幅広く培うための重要な単元でもある。友達との話し合いから行い方の工夫が生まれたり、考えた運動遊びの工夫を友達に伝えたりするなどの思考力・判断力・表現力の高まりも期待できる。さらに、きまりを守って誰とでも仲よく運動遊びをしたり、場の安全に気を付けたりすることの素地を培うことを意図して設定した。

② 児童の実態

多様な動きをつくる運動遊びを経験した2学年2時までには児童は、友達の動きを真似たり、繰り返して体を動かしたりしながら、体の動かし方を知り、動きを身に付けようと取り組んだ。バランスをとって一輪車に乗ったり、タイミングを計って縄を跳んだりと徐々に、体の動きが上達してきているが、そのきっかけとなるのは友達の支えやアドバイスというよりは、自力に頼ることが多く、基本的な動きを身に付ける運動遊びの行い方がわからないで悩む児童も多い。

授業や休憩時の遊びにおいても、体を動かしながら、「こうしよう。」「そっちの方がいいよ。」とルールや作戦についての会話が多く見られるようになってきた。

また、運動遊びに夢中になりすぎて、友達やグループへの口調がきつくなったり、悔しくて泣いてしまったりすることも多く、それらが活動の意欲低下につながることもある。

体育や本単元に関する事前調査の結果は下記の通りである。

<全国体力・運動能力、運動習慣等調査>

質問 (発達段階に応じて、尋ね方を変えています。)	回答(人)	
①体育の授業は楽しいですか。	楽しい	7/8
②体育の授業では、技や動きができるようになる。	そう思う	6/8
③体育の授業では、仲間と協力して課題を解決することがある。	そう思う	6/8

<体づくりの運動遊びの知識・技能に関する調査> ↓できる そうでない具体↓

①投げ上げたボールを捕球する	3人	捕球時の手の平が上を向いていない。 捕球可能な投げ上げができていない。
②フープをまっすぐ転がす	5人	フープの支え方、押し出し方(力の加え方)がわからない。
③短縄をタイミングよく跳ぶ	6人	回数を重ねるとずれてくる。

		脇があいていて、縄が遅れてくる。 足のうら全体での着地や跳躍になる。
④けんけんで移動する	6人	バランスを保てない。

③ 指導上の留意点

【深い学びの実現を目指した課題発見・解決学習】

課題設定の過程では、課題をより自分のものとしてとらえさせるために1単位時間において、個人の気づきを明らかにさせた後に、学習のめあてを提示するなどの工夫を行う。また、工夫した運動遊びを集約したものを作成し、広めるという目的をもたせ興味・関心を持続させていく。

運動を通した気づきを蓄積する過程では、たくさんの動きに触れることができる場、道具を設けたり、複数の運動の場を提示して選択できるようにしたりして、児童が協力しながら探究方法を考えられるようにする。また、単元全体では、他の領域では扱われにくい動き方を知る、動きをするという体づくりの運動遊びの特性から、その前後で学習する各運動遊びやゲームなどの他領域の学習と関連させて配置することで、他の領域の学習内容をより深めることができると考え、年8時間を2・2・4時間に分け、計画的に配置する。

【主体的に考えを表現する活動の設定】

多様な運動遊びを構成する4つの運動遊びの工夫などを具体的に表現させるために、瞬時に取り上げ全体で共有する。また、言葉での表現が苦手な児童に対しては、活動の様子の映像を見たり、実際に体を動かしたりすることで見つけた工夫や動きの魅力を表現させる。その際、意欲が感じられる児童のつぶやきや動きを取り上げ、それらを全員に広げ共感を生むことで体を動かすことに対する楽しさや友達と調子を合わせることの心地よさを味わわせる。

④ 単元の目標と評価規準

〈単元の目標〉

- 多様な動きをつくる運動遊びの楽しさに気づき、行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付ける。 【知識及び運動】
- 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を工夫し、考えや気付いたことを友達に伝えることができる力を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】
- 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組み、きまりを守って運動をしたり、安全に気を付けたることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】

〈評価規準〉

知識及び運動	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
① 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知り、提示された動きや友達を真似した動きができる。 ② 提示されたいろいろな動きや工夫が加えられた動きをよりスムーズにできる。 ③ 姿勢、方向、数などを変えても動きができる。	① 楽しくできる多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 ② 友達のよい動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に※伝えている。 ③ ②の※部に「 <u>動作を交えながら</u> 」を加えたもの。	① 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ② 順番やきまりを守り、誰とでも仲良く運動や準備、片付けをしようとしている。 ③ 危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けてようとしている。

※ 本単元は、学習指導要領等に関する移行期間中に、新学習指導要領による指導を先行して行う際の評価規準を設定しています。なお、評定については、現行学習指導要領の評価規準に基づいています。

⑤ 単元の指導計画

学年 時	第1学年		第2学年		
	1・2・3・4・5・6	7・8・9・10・11	1・2	3・4	5・6・7・8
学習段階	運動遊びの行い 方を知り、動きを試 す段階	運動遊びを試し、 自己の能力に気付 く段階	友達とともに運動 遊びをし、楽しさや喜 びを味わう段階	条件を付加し、動き を広げそれらの動き にチャレンジする段 階	他領域とのつなが りに気付いたり、競争 の楽しさに触れたり する段階
学習内容	体のバランスをとる運動遊び、体を移動する運動遊び、用具を操作する運動遊び、力試しの運動遊びについて、基本 的な動きを身に付ける。 □□ 動きをさらに広げ（行い方の工夫）、多様な動きを身に付ける				

本時の学習（本時4／8）

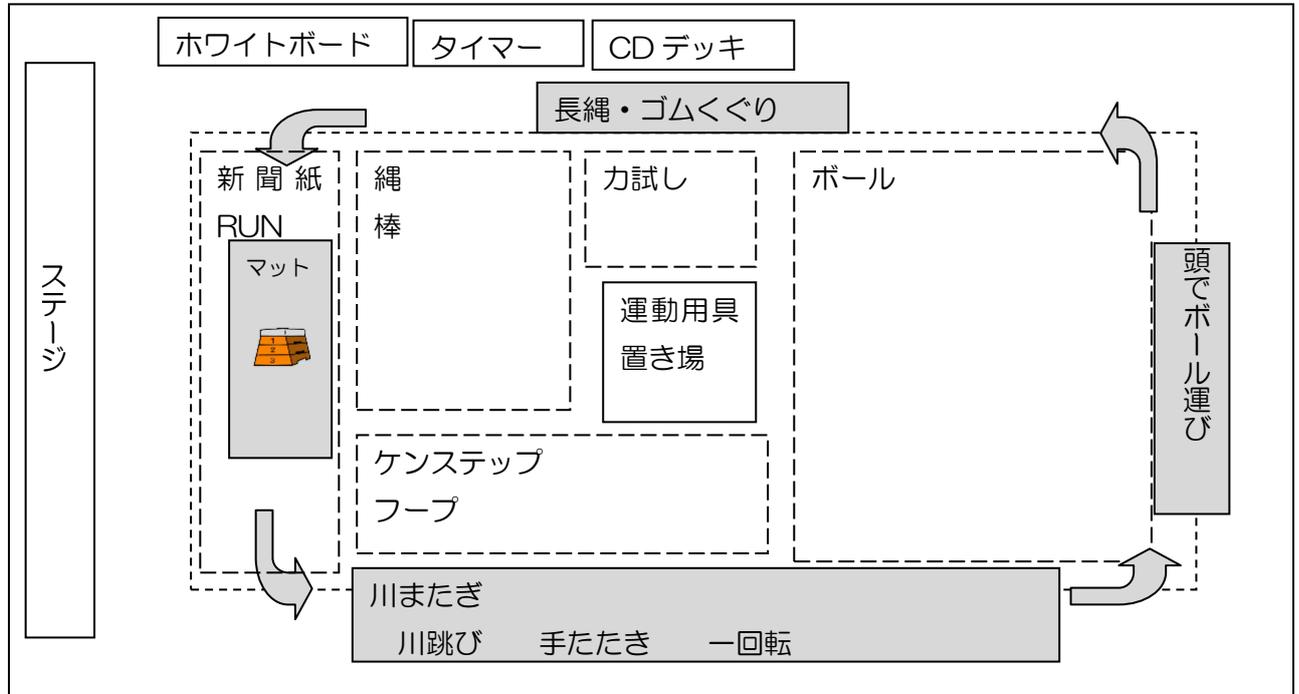
○ 本時の目標

運動遊びに進んで取り組み、より楽しい運動遊びとなるような遊び方の工夫を考え、伝えることができるようになる。【思考力・判断力・表現力等】【態度】

学習活動	教師の手立て		評価規準 (評価方法)																				
	◎：発問	○：指示																					
1 関連する運動遊びをし、活動の準備をする。																							
<ul style="list-style-type: none"> 関連する動きによって体を温める。 	<ul style="list-style-type: none"> サーキット 	<ul style="list-style-type: none"> ◇楽しい雰囲気味わわせるためにBGMを用いる。 																					
2 課題に気づき、めあてを把握する。																							
<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を想起し、学習のめあてを知る。 	<p>◎今までにやった運動遊びで楽しかったのはどのような動きですか。</p> <p>あそび方を工夫して、体をたっぷりうごかさう。</p> <p>◇前時の振り返りから学習のめあてをもたせる。</p>																						
3 課題の解決に向けて、伝え合いながら運動遊びをする。																							
<ul style="list-style-type: none"> 今までに経験した運動遊びに工夫を加える。 工夫したことを共有する。 連続性のある運動遊びを行う。 	<p>○遊び方を工夫して、体を動かしてみよう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>バランス</th> <th>移動</th> <th>用具</th> <th>力試し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工夫例</td> <td>利き足でない方で立つ。目をつむる。棒をもって移動する。</td> <td>はやさをゆるめたり強めたりする。腕を上げたり、下げたりする。</td> <td>転がす方向を変える。転がしたフープの中をくぐる。</td> <td>重たいのを運ぶ。腕支持を片手で行う。逆に旋回する。</td> </tr> <tr> <td>道具例</td> <td>棒 テープ</td> <td>新聞紙</td> <td>フープ</td> <td>ボール など</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>人数 向き(方向)</td> <td></td> <td>回数</td> <td>スピード など</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇多様に場と道具を用意する。</p> <p>○おもしろそうな運動があったので、紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目を閉じて、片足で静止する 友達と同じ動きをしながら追う 回したフープの周りを走る 投げ上げたものの捕球までにいろいろな動く 手や足を支点として様々に動く <p>◎どのような工夫しましたか</p> <p>◇言葉での表現が苦手な児童のために、児童に示範させながら共有させる。また、書き留めるボードを準備しておく。</p> <p>◇紹介したい動きがあったときには、活動の中で児童による示範させる。</p> <p>▷ボール投げキャッチ▷跳んだりくぐったり</p> <p>○レンジャーコースで遊びましょう。</p> <p>▷ジグザグ走り▷フープステップ</p> <p>◇サーキットコースを活用する。</p>		内容	バランス	移動	用具	力試し	工夫例	利き足でない方で立つ。目をつむる。棒をもって移動する。	はやさをゆるめたり強めたりする。腕を上げたり、下げたりする。	転がす方向を変える。転がしたフープの中をくぐる。	重たいのを運ぶ。腕支持を片手で行う。逆に旋回する。	道具例	棒 テープ	新聞紙	フープ	ボール など	その他	人数 向き(方向)		回数	スピード など	<ul style="list-style-type: none"> 進んで運動遊びを楽しんでいる。【態度】(行動観察) 数や方向、動きの種類など運動遊びの工夫を伝えている。【思・判・表】(行動観察)
内容	バランス	移動	用具	力試し																			
工夫例	利き足でない方で立つ。目をつむる。棒をもって移動する。	はやさをゆるめたり強めたりする。腕を上げたり、下げたりする。	転がす方向を変える。転がしたフープの中をくぐる。	重たいのを運ぶ。腕支持を片手で行う。逆に旋回する。																			
道具例	棒 テープ	新聞紙	フープ	ボール など																			
その他	人数 向き(方向)		回数	スピード など																			
4 学習を振り返る。																							
<ul style="list-style-type: none"> 次時の学習に向け展望をもつ。 学習の中で習得した運動遊びをする。 	<p>○次の時間は、たくさん成功できるように頑張りましょう。</p> <p>◇運動遊びが上達するよう取り組むことを知らせる。</p> <p>◎友達が紹介してくれた運動の中で気に入った動きがありましたか。</p> <p>○動きをみんなでやってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 投げた物をとる時に○回手を叩く。 転がしたフープの中をくぐる。 																						

場の設定方法や用具について

準備物（コーン・ボール・縄・フープ・BGM・支柱・ケンステップ・マット・セーフティマット・跳び箱、タブレット・新聞紙・） 灰色は、導入時



板書計画

9月21日（金）

㊦あそび方を工夫して、体をたっぴりうごかそう。

☆学習の流れ

- ①体をあたためよう
- ②めあて
- ③色々な運動遊びに挑戦
 - ・ぐらぐらバランス
 - ・すたすた移動
 - ・道具をつかって
 - ・力をぬいたりいれたり
 すてきな動きの紹介
- ④レンジャーコース
- ⑤まとめの運動

	ぐらぐら バランス	すたすた にんじゃ	どうぐを つかって	力をぬいた り入れたり
遊び方の 工夫	目をつむ る。 止まる。	走る。 しゃがみ ながらあ るく。	2こつか う。 両手・片手	ひっぱる 持ち上げ る（下ろ す） ねじる ゆるめる
活動中に出た児童の工夫を書き加えていく。				

レンジャーコースの説明

- ▷ボール投げキャッチ▷跳んだりくぐったり
- ▷ジグザグ走り▷フープステップ